

事務事業チェックシート

事務事業No 550 事業名 消防水利の開発及び保全に関する事業

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	5	消防力の充実
施策	2	災害対応力の充実
取組方針	4	消防水利の整備

事業種別	継続	
事業期間	～	
事業実施の根拠法令	消防法・消防組織法・都市計画法	
関連個別計画		
担当課・担当課長 (Tel)	警防課	和佐 茂雄 (428-0119)
関連課		

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		消防費	
	項		消防費	
	目		消防費	
	大事業		消防事業	
事項		消防水利の開発及び保全に関する事業		

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的 (「誰・何」をどういう状態にする) ための事業か)	事業内容				
	消防水利を常に使用可能な状態にすることで、市民の生命、身体、財産を火災から守る事業	消防水利保全に必要な物品の購入 防火水槽の改修及び設置 消防水利施設の焼付表示 消火栓の新設及び維持管理経費				
実施内容		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
		公設消火栓 30基新設 公設防火水槽(40㎡) 17基新設 公設防火水槽(20㎡) 18基新設	公設消火栓 27基新設 公設防火水槽(40㎡) 8基新設 公設防火水槽(20㎡) 14基新設	公設消火栓 20基新設 公設防火水槽(40㎡) 8基新設 公設防火水槽(20㎡) 11基新設	公設消火栓 35基新設 公設防火水槽(40㎡) 10基新設 公設防火水槽(20㎡) 10基新設	公設消火栓 35基新設 公設防火水槽(40㎡) 10基新設 公設防火水槽(20㎡) 10基新設

2 事業コスト

事業費等 (千円)	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	31,850	31,843	29,702	29,594	24,105	24,067	36,565		36,565	
伸び率 (%)	-	-	▲6.7%	▲7.1%	▲18.8%	▲18.7%	51.7%	▲100.0%	0.0%	-
人件費	正規職員	5,003	4,793	4,793	5,168	5,168	5,181	5,411	5,411	
	正規職員以外	101	94	94	105	105	106	106	106	
小計	5,104	4,887	4,887	5,273	5,273	5,286	5,517		5,517	
国庫支出金										
県支出金										
市債						8,700	14,600			
その他										
一般財源 (税等)	31,850	31,843	29,702	29,594	24,105	15,367	21,965		21,965	
所要人数 (人)	正規職員	0.66	0.64	0.64	0.68	0.68	0.68	0.68	0.68	
	正規職員以外	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	
主な予算内訳	・消火栓維持管理負担金 21,186千円									

3 目標及び実績

指標	指標名	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
			目標値	実績値	達成度 (%)	目標値	実績値	達成度 (%)
活動指標	消防水利 (消火栓、防火水槽) の新設数	基	55	65	118.2%	55	55	
			55	49	89.1%	55	39	70.9%
			55	39	70.9%			
活動指標	耐震性防火水槽の整備数	基	629	636	101.1%	656	696	
			656	678	100.3%	676	678	100.3%
			676	678	100.3%	696	700	
成果指標	防火水槽の耐震率 (耐震性防火水槽 / 全公設防火水槽)	%	39.1	38.1	97.4%	40.5	43.3	
			40.5	38.9	96.0%	41.9	44.7	
			41.9	39.6	94.5%			
成果指標			目標値					
			実績値					
			達成度 (%)					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	市民の生命、身体、財産を火災から守るため、消防水利を常に使用可能な状態に維持管理していく必要がある。
見直し・改善内容	既存の非耐震性防火水槽に簡易耐震化を実施していくことで、消防水利としての安定的な機能の確保を進めている。